



## COVID-19 感染拡大防止のための 令和3年度活動報告No.14

緊急事態宣言、または、まん延防止等重点措置発令中だった結核予防週間（9月24日～9月30日）を過ごした地域も多かった、今年の結核予防の啓発活動を、昨年の方法をさらにバージョンアップさせて、慎重に実施しました。「結核予防」のメッセージをいかに多くの方に届けるのか、そのなかで新型コロナウイルス感染症に関する啓発も続けています。地域に根差した婦人会活動を紹介いたします。

### ＜北海道健康をまもる地域団体連合会：札幌市北区健康をまもるつどい＞

札幌市では、昨年につき、結核予防週間に該当での啓発活動を、マスク着用、「結核をなくすための複十字シール運動募金にご協力ください」の幟を掲げて、小声で募金活動を行いました。今年の資材「シールぼうやとシールちゃんのイラスト入りマスクケース」（写真）に加え、その他シール運動のリーフレット、ポケットなど添えて、啓発活動を行いました。街ゆく人は、少なかったのですが、コロナと同じ感染症であること、また不織布マスク入りのケースもかわいいので、結核について知っていただくいい機会となりました。

また、札幌市北区から情報提供を受け、健康づくりのための食生活改善の普及として、「野菜の摂取」「朝食を抜かない」「災害時の食事方法」などの啓発パンフレットやがん検診受診向上のためのパンフレットやポケットティッシュ等も配布しました。

啓発活動を実施する範囲が細くなるため、啓発資材を複数の地区に分けて配布する必要があり、今まで以上に数量が必要になりました。ただ、上限が設定されているので、なかなか思うほど活動範囲が広げられないことが、現在の課題です。



写真 マスクケース

### ＜北海道健康をまもる地域団体連合会：鷹栖町保健推進委員協議会＞

鷹栖町では、5月18日より75歳以上の新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、65歳から74歳の方の接種券が6月上旬から発送されることを受けて、婦人会員が、予約操作のお手伝いすることを計画しました。

スマートフォンでの予約支援を行う予定でしたが、支援が必要なケースがほぼありませんでした。そこで、ワクチン接種予約会場の「サンホールはぴねす」（お風呂や健康遊浴水室〈温水プール〉のある鷹栖町の施設）に来所された方の誘導や感染予防対策のためのアルコール消毒など、他の内容で実施しました。